

受講番号 18056 学校名 朝倉中学校 氏名 山本 由美子

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 2年1組 生徒数 19名
 科目名 2年 単位数(授業時数) 3時間 使用教科書名 NEW HORIZON English Course 2

クラスの様子・特徴

明るく前向きなクラスであり、1年生の時から英語が好きであった生徒も少なくない。ただ、4月当初のアンケートを見ると、テスト期間中でなければほとんど英語の勉強はしてあらず、また、学校の学習以外に英語に触れる機会はほとんどない生徒が大部分である。

問題の確定

家庭での学習習慣がついてあらず、自ら英語に触れる機会はほとんど持っていないので、家庭学習を定着させ、自然に力を伸ばしていけるようにしたい。

予備調査

A 授業の観察

毎時間出している、単語や本文を書いている宿題は、80%強で推移している。授業中の発表も多く前向きに取り組む生徒が多い中、2~3名、全く声も出さず、あまり授業に参加できていない生徒もいる。

B 生徒による授業評価

1年次英語が楽しかった、まあ楽しかったと感じている生徒が全体の約50%。すごく嫌だったという生徒はいなかったが、少し嫌だった生徒が15%位いる。学校の学習以外に英語に触れる機会は、あるにはあるが、あまり積極的ではない。

C 学力データ

CRTの結果を見ると、全観点評定で5段階の5に相当する生徒はいない。3の生徒が一番多く、続いて4と2、1と続く。英語が楽しいと思う生徒が多い割に能力が高い生徒は少ない。最初テストでは10点未満の生徒が4人あり、平均も46.4と低かった。

リサーチ・クエスチョン

「すべての生徒が現時点よりも英語が好きになり、日常的に英語の家庭学習をしたり、自ら自然な英語に触れようとするにはどのような指導をすればよいか。」

仮説・実践・検証

仮説1

授業の中で、英語の歌をリスニング教材(ディクテーション形式)として使うことで、自分から歌われている英語を積極的に理解しようとし、すんで英語の歌に触れるようになるのではないかと。

実践1

新旧取り混ぜて、7~8曲取り上げた。特別新しい曲以外は、その時に習っている構文が使われている(しかもその部分が聞き取りやすく、頻繁に出てくる)ことに留意した。また、現在はやっている曲や季節にあわせた曲も選択し、生徒の興味を引き出すよう気を配った。

検証1

授業で曲を聞かせているとき、生徒はいきいきとし、()内の単語を当てるのも楽しんでいる様子である。休み時間に、今までに取り上げた曲を歌っている姿も目に付く。

仮説2

負担にならない程度の課題(教科書の本文等を書く・リーディングをやってくる等)を与えると、家での学習量が少しでも増え、学習習慣がつくのではないかと。

実践2

単語の練習と課題学習プリントを主に利用した。それ以外の課題も出す予定であったが、この2種類だけでもほぼ毎時間の課題となるため、生徒の負担を考え、断念した。

検証2

提出率はほぼ100パーセントに近い。しかし、これが家庭学習に結びついているかという点、それは疑問が残る。その日のうちに(担任を通すなどして)プリントを提出する生徒が非常に多いからだ。また、提出期限日の英語の授業の前の休み時間に仕上げる姿も目に付く。

仮説3

仮説2のリーディング課題の前に、十分に授業でリーディングの指導を行うことで、生徒が自信を持ち、読み方や練習の仕方がよくなって自分ですんで学習しやすくなるのではないかと。

実践3

授業でのリーディング指導の際、全員でのリーディングの他、個人でのリーディングを小型レコーダーで録音するという実践を試みた。小型レコーダーは予算の関係で、数台しか購入できなかったが、少人数指導を行っているため、1台に3人くらいの割合で実施することができた。

検証3

仮説2のためのサポートとして設定した仮説3であったのだが、やり始めてみると、こちらがメインになった。最初は自分の読んだ英語を録音する、ということで顔をこわばらせていた生徒(特に英語の苦手な生徒)も、練習を重ねてリーディングに取り組むうちに自信をつけ、授業中の全員でのリーディングにも(それまで口があまり開いていなかった生徒も)積極的に参加できるようになった。

研究の成果

仮説1と3は生徒も楽しんでいる様子で、いきいきと活動していた。仮説2については、提出率はいいのだが、それが家庭学習につながっているかどうかは少し疑問である。学校で、休み時間等に仕上げている生徒が多いように見受けられる。生徒のアンケート結果を見ると、授業が楽しいと思っている生徒が約20%から50%に増え、まあまあ楽しいと感じている生徒とあわせると、80%近くになる。授業での取り組みが学習に大いに役に立った・まあまあ役に立ったと思っている生徒は、仮説1で91%、仮説2で82%にのぼる。十分に成果が上がったように思われる。

今後の授業改善の課題

もともとは、家庭学習がしっかりとできるようにと始めた取り組みであった。この取り組みによって授業自体の改善にはなったものの、家庭学習の量が増えている様子は見られないし、英語に自ら触れようとする態度もあまり変わっていない。しかし、生徒が自由に書いた感想を見ると、自分で英語を読もうとするようになり、映画を見ているとき、英語の字幕がだいたい読めるようになった、などの書き込みが多かった。長く続けることで改善される可能性が高いのではないかと。

リサーチについての問合せ先:

職場電話

088-844-1824

電子メール